

スポーツ推進計画<後期改定計画>数値目標の進捗状況

令和3年度実績

| 項目 | 後期改定計画 | | 最新値 | | 目標値 (R4) | 評価 | ◇数値目標に対する評価 / ◆今後の対応 |
|--------------------------------------|---------|-------|-------------------------|------------|-------------|------|--|
| | 実績 | 年度 | 実績 | 年度 | | | |
| 基本方針1 生涯を通して楽しめるスポーツ活動の推進 | | | | | | | |
| 成人のスポーツ実施率 | 週1回以上 | 35.2% | H28 | 50.1% | R3 | 60% | × ◇実施率は向上しているが、目標値にはまだ遠い ◆女性、ビジネスパーソン等対象を焦点化した事業実施を行う |
| | 週3回以上 | 16.7% | H28 | 21.5% | R3 | 30% | |
| 総合型地域スポーツクラブが行う活動への参加者数 | 21,300人 | H29 | 30,713人 | R2 | 増加させる | ◎ | ◇委託事業への会員外の参加が増加している ◆高齢者介護予防事業を未実施のクラブに対して受託できるように働きかけていく。また、部活動の受け皿となることでクラブへの参加者及び会員を増加させるようにしていく。 |
| 子どものスポーツ実施率 | 平均 | 44.7% | H29 | 39.2% | R3 | 60% | × ◇新型コロナウイルスの影響により、運動に親しむ子どもの減少により実施率が下がっている。 ◆教員や部活動指導員などの指導力向上を図り、体育授業での楽しい経験から、スポーツが好きな児童を増加させ、子どものスポーツ実施率向上につなげる |
| | 小学生男子 | 54.7% | H29 | 49.0% | R3 | — | |
| | 小学生女子 | 34.4% | H29 | 29.1% | R3 | — | |
| スポーツや運動が「嫌い」「やや嫌い」である中学生を減らす | 14.7% | H29 | 17.2% | R3 | 10%以下 | × | ◇目標には達していないが、体育授業の改善による成果が表れている ◆体力や障がいの程度にかかわらずだれでもスポーツをする楽しさや喜びを味わえる体育授業を推進する |
| 基本方針2 トップアスリート育成に向けた支援・強化策の確立 | | | | | | | |
| オリンピック・パラリンピックでのメダリスト輩出 | | | 1 (北京2022 オリンピック) | R3 | 輩出 | ◎ | ◇東京2020オリンピックに5名、北京2022冬季オリンピックに6名の選手が出場し、その中から待望のメダリスト(スピードスケート競技500m銅メダル)を輩出することができた。 ◆メダリスト輩出に向けて、遠征や練習環境を整えるための支援を継続する。 |
| 国体の天皇杯順位 | 31位 | H29 | 中止 (32位) | R3 (R1) | 20位台 | — | ◆成年の部におけるふるさと選手の活用と少年の部の競技団体が中心となった強化活動の推進が必要である。 ◆競技団体との更なる連携を図り、成年選手の動向を確実に把握・少年選手の早期選抜チームの結成等で、環境の充実を図る。 |
| インターハイ入賞数 | 夏季 | 60 | H29 | 40 | R3 | 40以上 | × ◇インターハイ入賞へ向けて、効果的かつ継続的な強化事業を実施でき、目標入賞数40を達成することができた。 ◆学校間、校種間の垣根を越えて競技全体での強化策を講じるなど、小学生から中長期的な強化策の検討などを県高体連と連携して展開する。 |
| | 冬季 | 26 | H29 | 8 | | 15以上 | |
| 基本方針3 スポーツを通じた活力ある地域社会の実現 | | | | | | | |
| ホストタウン交流事業への参加者数 | 8,500人 | H29 | 10,418人 | R2 | 8,000人 | ◎ | ◇コロナ禍であったが、オンラインなど工夫を凝らしてホストタウン交流イベント等を開催し、多くの県民が参加した。 ◆2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の終了により、ホストタウン交流は一旦終了となるが、交流によって培われた絆を今後にかし各ホストタウンにおいて様々な施策への展開が図られるよう支援していく。 |